

株式会社ダスキン 第64回定時株主総会 質疑応答概要

当日総会での質疑応答の概要です。(ウェブサイトで受付した事前質問の一部を含んでおります)

事前質問1	一般家庭向けの定期訪問によるモップ・マットのレンタルは時代遅れではないか。 新たなビジネスモデルや体質改革を考えてもいいのではないか。
回答 (大久保議長)	家庭向けのレンタルモップ・マットにつきましては、お客様数は減少傾向にあるものの、400万軒弱を有しており、お客様接点がデジタル中心となる社会環境下において、お客様との対面による接点がある点は、逆に差別化要素として、当社のビジネスにおける強みであると捉えております。また、郵送によるお届け、ポストへの返却等の交換方法の導入や、従来、定期交換訪問の合間に行っていた新規営業(活動)を専門に行う営業専任活動により、直営店及び営業子会社では、お客様数の増加が見られており、加盟店への展開を図っています。一方で、新たなビジネスモデルの展開として、訪販グループでは、レンタルモップ・マット中心のビジネスモデルから、家事代行サービスやシニアケア、イベントの企画運営等のビジネスモデルの展開を従来より進めてきており、着実に成長しております。また、中期経営方針2028では、「ハウスマンテナンス領域」への取り組みを進めています。さらに、資本業務提携先との連携により従来の事業領域にとどまらない成長機会の創出にも取り組んでおります。
事前質問2	以前、都内で個人株主懇談会を実施していただきましたが、次回の計画などありますか？
回答 (大久保議長)	当期は開催することを決定し、総会後に発送いたします配当金計算書に、個人株主様向けイベントのご案内を同封しております。当社は株主の皆様当社事業への理解をより一層深めていただく機会を重要と考えており、今後もさまざまな形で対話の場の充実に努めてまいります。
事前質問3	株主優待について、300株以上保有で2,000円のところを3,000円に増やしてほしい。
回答 (大久保議長)	既に当社ウェブサイトでお知らせしておりますが、2027年3月末日基準日より株主優待制度を一部変更。300株以上500株未満を保有いただいている場合の株主優待券は保有期間が1年以上3年未満が4千円分、3年以上が5千円分とさせていただきます。詳しくは総会後に発送いたします配当金計算書及び株主優待券に同封する書面をご確認ください。
事前質問4	「もっちゅりん」がまだ買えていません。ネット予約も売り切れ状態です。改善してほしい。
回答 (大久保議長)	このたびは「もっちゅりん」を楽しみにしていただいているにも関わらず、ご購入いただけていないことについて、誠に申し訳ございません。多くのお客様に楽しんでいただけるよう準備してまいりましたが、当社の予想を大きく上回るご好評をいただいております。ネットオーダーに関しても既に予約頂ける数量枠を超えている状況です。また、店頭販売についても、ほとんどの店舗で数量限定での販売としております。各店舗の販売開始時間及び販売個数の詳細につきましては、ホームページ及び店頭にて掲示しておりますので、事前にご確認のうえ、ご来店いただきますようお願いいたします。できるだけ多くのお客様に商品をお届けできるよう努めてまいります。
事前質問5	「もっちゅりん」以外の商品を購入したいのに 行列が出来ていて30分以上待たされる。 対策を取ってほしい。
回答 (大久保議長)	「もっちゅりん」以外の商品をご購入されたいのに行列のため、お待たせをしていることについてお詫び申し上げます。販売方法については店舗ごとの立地や周辺状況に応じて対応が異なっております。「もっちゅりん」以外の商品に関してもミストネットオーダーで事前にご予約いただけます。事前にご予約いただくことで、レジに並ばずにスムーズにご注文された商品をお渡しいたしますので、ぜひご利用ください。
事前質問6	タイのミスタードーナツの味が美味しくないから何とかして欲しい。
回答 (大久保議長)	当社のミスタードーナツ事業においては、各国・地域のお客様の嗜好や食文化に合わせた商品開発を行っており、タイにおいても現地で好まれる味や価格帯を踏まえたローカルアレンジを実施しております。日本品質とのバランスを図りながら、よりご満足いただける商品・サービスの提供に努めてまいります。
事前質問7	ターミニックス事業で特許取得し、実用化している案件についてホームページに公開し企業価値向上につなげてほしい。
回答 (大久保議長)	各事業における特許や研究内容の公表については、競争優位性や事業戦略への影響を踏まえ、企業価値向上への寄与及び知的財産保護の観点を総合的に勘案し、適切に判断してまいります。

当日質問1	第1号議案の剰余金処分における配当は、配当性向基準により1株68円ですが、今後の中期経営方針においても同様の考え方を継続されると思いますが、今期は大阪万博の影響等があったとみられ、訪販事業については、今後厳しさも想定されます。今後の収益見通しを教えてください。
回答 (大久保議長)	大阪万博による特需の影響は加盟店ベースで一定程度あるものの、当社はロイヤリティ収入であるため、売上への直接影響は限定的です。前期の利益減少は、新商品であるケース付きモップクリーナーの導入に伴う原価一括計上が主因であり、今期以降は昨年原価計上した当該商品の原価負担はなく売上利益への寄与が見込まれます。よって、実質的には成長基調にあると考えております。訪販事業については一定の厳しさを認識しつつも、中期経営方針に掲げる施策を着実に推進し、安定的な成長及び配当還元を継続する方針です。

当日質問2	今後、グローバル分野のスキルを有する人材の強化を図る方針はありますか。また現体制で十分とするのであれば、グローバル戦略の方向性について教えてください。
回答 (上野取締役) (大久保議長)	海外展開については今後も積極的に進めていく方針であるが、本社人員の拡充はもちろんのこと、パートナー企業との連携を軸に推進していく考えです。展開地域については、まずアジアを中心とした近隣市場に重点を置き、拡大していく方針です。 海外展開の推進にあたり、本社の国際部門の強化に加え各部門からの人材募集等、若手従業員の育成にも注力しております。

当日質問3	第2号議案の「介護タクシー」ですが、どういう方向で、何を目指しているのか教えてください。
回答 (川添執行役員) (大久保議長)	高齢化社会の進展に伴い市場拡大が見込まれると認識しており、フレイル予防、移動支援、外出支援等のサービスに成長の可能性があると考えています。自力での移動手段の確保が困難な高齢者のニーズの高まりを踏まえ、外出支援・移動支援分野への事業展開を視野に入れ、検証を行います。なお、具体的な事業内容の詳細については営業戦略上の理由により説明を差し控えます。 当社は介護保険対象外のライフケアサービス及び介護用品レンタル(ヘルスレント事業)を展開しており、介護タクシーについては、これら既存事業とのシナジーを踏まえ、テスト実施により有効性を検証した上で、今後の本格導入の可否を判断していきます。

当日質問4	訪販グループの減益要因として新商品の原価一括計上の説明があったが、数年前に実施したレンタル商品タグ導入等約50～60億円規模の投資について、実際に業績改善効果が出ているのか疑問がある。当該投資の効果の状況及び回収見込みについて教えてください。
回答 (大久保議長)	RFIDタグ導入は一定程度効率化効果があり、投資は有効であったと認識しています。一方で、人件費や原材料費の上昇により、約30億円規模のコスト増加要因が生じているが、そのような環境下においても、当該投資による合理化効果が利益下支えに寄与しており、予定通り投資回収は進捗しております。

当日質問5	社外取締役の選任理由および今後の選任基準について説明してほしい。
回答 (大久保議長)	社外取締役の選任にあたっては、他社でのビジネス経験や経営知見を重視しており、候補者とは直接面談を行った上で適性を確認しています。あわせて、当社の顧客特性も踏まえ、女性視点の確保も意識し、現在は女性3名を社外取締役として選任しています。今後の選任においても、幅広いビジネス経験に加え、SDGsやガバナンス分野などの知見を重視し、最終的には取締役会で候補者の決定を経て株主総会で選任いただきます。

当日質問6	業績や商品面での好材料を株価に結びつけるための施策について考えを伺いたい。また、ミスタードーナツの福袋購入等に株主優待を使用した場合に優先的に購入ができるようにしてほしい。
回答 (大久保議長)	当社のPBRは約1.2倍と一定の評価は得られているとの認識ですが、今後更に株価を意識した企業経営を進め、引き続き事業施策や情報発信(プレスリリース等)を通じて、企業価値向上と株価上昇に取り組む方針です。株主優待については、利用促進の観点から重要だと考えていますが、福袋購入の優先枠設定等については一般のお客様との公平性の観点もあり、導入については慎重な判断が必要だと考えております。